

国内クレジット制度の先進的な事例として 三光が取り上げられました。

400社以上の登録がある国内クレジット認定企業の中から、先進的な取り組みを行っている企業として三光が選ばれました。国内クレジット推進協議会からの依頼で三輪社長がインタビューを受けました。

日時： 平成22年7月6日（火） 13:00～14:30

場所： 三光株式会社 潮見工場 2F会議室

インタビュアー：株式会社東洋経済新報社 様

株式会社日本政策投資銀行 様

株式会社日本経済研究所 様

計6名



インタビューの様子
中央奥が三輪社長



蒸気発電機の見学
皆さん興味津々

【インタビュー内容】

Q：国内クレジット認定の経緯は？

A：江島工場の焼却炉で未活用だった廃熱を有効に活用する為、「小型蒸気発電機」を一年半前に導入した。この発電により、構内の電力使用量の大幅削減につながるだけでなく、CO₂削減に寄与していることに着目していた。その時に国内クレジット制度の説明会に参加し、「これだ！」と思い、申請しました。

Q：国内クレジットの活用方法は？

A：このクレジットは、お客様からの廃棄物の燃焼熱によって貰えた物ですので有効に使って頂けるお客様に搬入量に応じたクレジットを提供することを考えています。

このインタビューの記事は、8月くらいに東洋経済新報社様の雑誌に掲載されます。